

田んぼ 生き物月報 4月

2011年5月5日(木)
第4号

4月にはいり、生き物の種類が爆発的に増えてきました。畦では春先から見られたオオイヌノフグリやタガラシに加え、レンゲ、タンポポ、キツネノボタンなどの花も咲き始め、4月下旬になると、地中からシュレーゲルアオガエルの大合唱が聞こえるようになりました。また、チョウやテントウムシなどの昆虫も多くなり、4月30日の作業ではカエルや虫を餌にするアオダイショウの姿も確認されたようです。



4月30日 田んぼ

シュレーゲルアオガエル

広町にはアマガエルが少なく、シュレーゲルアオガエルが多い。黄色い目ととがった鼻が特徴で、春先繁殖のために地中で暮らし、コロコロと鳴く。

シュレーゲルの卵

白い泡状の卵塊には100～600くらいの卵が入っている。オタマジャクシは雨水とともに流れ出し、水場をめぐす。



4月30日 田んぼ



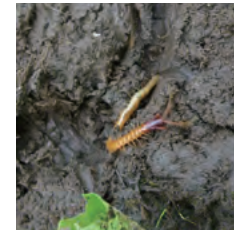
4月30日 田んぼ

ヤマアカガエルおたま

田んぼやため池など各所で順調に育っている。続いて誕生したヒキガエルのおたまとは大きさと色がかなり違うので見分けるのは簡単。こちらは灰色っぽくて大きい。

ムカデ

一応調べてみたところ、これはジムカデという種類の中で本当に百足に足りるのはこの種類だけだという。地中を好む。



4月30日 田んぼ



4月30日 田んぼ(つくし)

ホンドジョウ

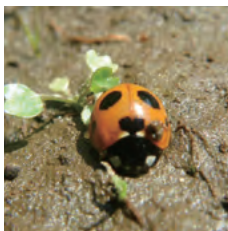
水気の少ないところから救出(発見)された。ドジョウは皮膚呼吸が出来るので、泥に潜って過ごす事が出来る。ホンドジョウは細長い。

ホトケドジョウ

ずんぐりした体型、上から見ると二等辺三角形のようにも見える。環境省のレッドリストでは絶滅危惧IB類(近い将来野生絶滅の危険あり)とされている。



4月30日 大竹ヶ谷



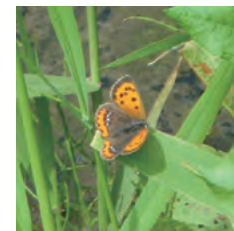
4月30日 田んぼ

ナナホシテントウ

アブラムシを食べる益虫とされる。赤と黒の派手な模様は警戒色で、体内に毒を盛っているため鳥はナナホシテントウを食べない。驚かすと黄色い液体を出す。

ベニシジミ

春から初夏にかけてよく見られる。模様を見るとタテハチョウのようだが、シジミチョウの仲間。シジミチョウの幼虫はカラフルなダンゴムシのような形をしている。



4月30日 畦



4月30日 畦

キアゲハの卵

アゲハの卵の多くは黄色くて丸い。このかわいらしい卵から出てくる幼虫はどぎつい色をしたモスラのような感じ。幼虫はセリ科の植物を食べる。

キアゲハ

最もよくみられるアゲハチョウのひとつ。単にアゲハと呼ばれるナミアゲハとは見分けにくいですが、羽の付け根部分の模様が違う。キアゲハは根元に黒い部分が多い。



4月30日 田んぼ脇湿地



4月30日 二本橋付近

モンシロチョウ

多分モンシロチョウ。よく似た種類にスジグロシロチョウがある。卵は黄色いお米のような感じで、はらべこ青虫のような幼虫はアブラナ科の植物を食べる。

キチョウの幼虫

図鑑を見ると、この白い線のある幼虫はキチョウのように見える。キチョウはモンキチョウよりも濃い黄色をしたチョウ。



4月30日 畦



4月30日 田んぼ

タンボコオロギ

春先であることからイチモジコオロギ(タンボコオロギ)の幼虫と思われる。タンボコオロギは幼虫のまま越冬し、春先と秋の2回発生する。ジエツエツと鳴くようだ。

ニホンカワトンボ

御所川などでよく見かけるカワトンボ。赤茶色っぽい羽が特徴で、胴体は金属っぽい水色をしている。地域によって色が違うようだ。



4月30日 御所川



4月2日 広場

ツグミ

写真が鮮明でないが、顔の模様と羽の茶色からツグミに見える。ツグミは地上ではチョンチョンと両足をそろえて跳ねるホッピングと言われる歩き方をする。

スズメノテッポウ

春の畦でよく見られる。スズメの鉄砲にみたてられた穂を抜くと草笛になることから、ピーピーグサとも呼ばれる。よく似た種類にセトガヤがある。



4月24日 畦



4月2日 畑近く

タンポポ

町中では外来種のセイヨウタンポポが多い。これは日本在来の関東タンポポだろうか? 在来種は外来種に比べて背が低く、咲く時期も限られるようだ。

ジシバリ

タンポポによく似ている。茎が地面を這うように伸び、所々で根をはることから「地縛り」の名前でよばれる。



4月24日 畑近く



4月3日 大エノキ近く新水路

つくし

ツクシはシダの仲間であるスギナの茎(胞子茎)で、マツモのようなもうひとつの茎(栄養茎)地下でつながっている。

ヘビイチゴ

キツネノボタンやタガラシに似ているが果実は黄色く、これが赤くなってイチゴのようになる。4月後半の畦ではそろそろ実が赤くなり始めていた。



4月2日 畦



4月2日 畦

キツネノボタン

タガラシのなかま。タガラシが田んぼの中でよく見られるのに対して、キツネノボタンは畦でよく見られる。緑の果実がコンペイトウのような形をしている。有毒。

ハルジオン

白またはピンクっぽい花をつける。同じなかまのヒメジョオンは夏から秋にかけて咲き出す。



4月24日 畦



4月24日 畦

カラスノエンドウ

マメ科のつる性植物。果実は実ると黒くなるため、カラスノエンドウの名前がついた。果実は食用にもなる。

ゲンゲ

レンゲともよばれる。緑肥として春の田んぼで栽培されていたこともあり、ゲンゲが咲く風景は春の風物詩であった。ゲンゲの花からは良い蜜がとれる。



4月24日 畦